

『史跡 下寺尾西方遺跡保存活用計画』構成・目次(案)

I 計画策定の背景と目的

- 1 背景と経緯
- 2 目的
- 3 対象範囲と位置付け
- 4 その他の計画との関係
- 5 策定経過 委員会

II 史跡下寺尾西方遺跡の概観

- 1 下寺尾西方遺跡と下寺尾遺跡群
- 2 史跡下寺尾西方遺跡を取巻く環境
 - (1) 茅ヶ崎市の概要
 - 自然的環境
 - 社会的環境
 - 歴史的環境
 - (2) 下寺尾西方遺跡の地理的環境
 - 位置と立地
 - (3) 下寺尾西方遺跡の歴史的環境
 - 周辺の遺跡と調査
- 3 下寺尾西方遺跡の調査と保存
 - (1) 調査研究史と保存の歩み
 - (2) 指定 指定告示
 - 指定説明文
 - 指定の範囲と状況
- 4 発掘調査成果の概要
 - (1) 環濠
 - (2) 集落
 - (3) 出土遺物

III 下寺尾西方遺跡の価値と構成要素

- 1 史跡下寺尾西方遺跡の本質的価値
 - (1) 南関東で最大級規模の環濠集落
 - (2) 相模川下流域における中心的な集落
 - (3) 弥生時代中期後半における環濠集落の形成から終末に至る変遷を知ることができる。
 - (4) 石器文化の終末と鉄器文化の波及を知ることができる。
 - (5) 景観を復元することができる遺跡
 - (6) 重層的な在り方から、環濠集落を中心とした地域の歴史的変遷を知ることができる。

2 今後加わる新たな価値

- (1) 西方遺跡(環濠集落)および周辺遺跡から見出される新たな価値
- (2) 史跡(文化財)として保存活用されることによって生まれる新たな価値

3 構成要素

- (1) 本質的価値を構成する要素
- (2) 本質的価値を構成する要素以外の諸要素

IV 下寺尾西方遺跡の現状と課題

1 下寺尾西方遺跡の特徴とその保存活用

- (1) 重なる史跡
西方遺跡が持つ重層性
- (2) 「史跡下寺尾官衙遺跡群保存活用計画」との整合性

2 現状と課題

- (1) 保存・管理
- (2) 活用
- (3) 調査・研究
- (4) 整備

V 大綱(保存活用整備の基本的な考え)

- 1 重なる史跡(の考え方)
- 2 保存・管理
- 3 活用
- 4 調査・研究
- 5 整備

VI 保存・管理

- 1 維持管理
- 2 開発対応の調査
- 3 公有地化
- 4 追加指定
新たな価値と評価

VII 活用

- 1 公開
- 2 活用

VIII 調査・研究

- 1 調査の基本方針

- 2 確認調査
- 3 調査成果の公開
- 4 研究体制の確立

IX 整備

- 1 整備基本構想と計画
- 2 暫定整備

X 計画の実施に向けて

- 1 運営・体制整備
- 2 実施計画
- 3 経過観察

附編

関連資料添付